

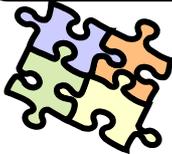
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2012年 1月 1日発行

あけましておめでとうございます。

はもりあ四日市は、1月26日に初めて企業向けの「ワーク・ライフ・バランス^{りよく}力向上セミナー」を開催します。ワーク・ライフ・バランスを推進するメリットをたくさん学ぶことができますので、ぜひどうぞ。

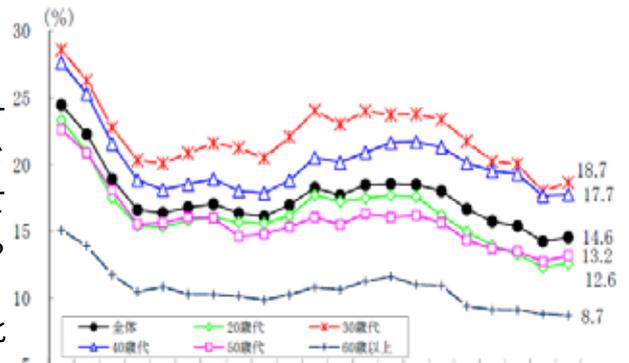


仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)レポート2011 が発表されました！！

【残業が多く、生産性が低い国 日本】

右図は、週労働時間60時間以上の男性就業者の割合を年齢別に示しています。総労働時間数は、2005年以降減少傾向にあります。30代では18.7%、40代では17.7%と高い水準であることがわかります。これらは大きな負担となっており、働きながら子育てや家事をこなしていくことは時間的にも難しい状況に置かれていると言わざるをえません。

また、公益財団法人「日本生産性本部」による労働生産性の国際比較2010年版によると、日本は長時間労働者の割合がとて高にもかわらず、労働者の時間あたりの生産性は16年連続で先進7カ国中最下位、OECD加盟33カ国中第22位という結果が出ています。



出典) 内閣府ワークライフバランスレポート2011

【“意識改革”と“生産性”が評価される組織づくりが求められる】

“仕事をちゃんとする”ことは、ワークライフバランス(以下、WLB)の大前提です。長時間働くことが「ちゃんと仕事をした」という意味ではありません。限られた時間で最大限の生産性を発揮することのほうが、コスト面から考えても企業にとって有益です。生産性向上のために、企業には多様な価値観、生き方、ライフスタイルを容認できる職場作りが、管理職には部下のマネジメント、仕事の管理能力を高めていくことが、そして社員一人ひとりには「時間制約」があることを前提とした働き方の工夫が強く求められます。

WLBの実現は、制度を整えやすい大企業が進めやすいものと思われがちです。しかし、組織としての柔軟性が高い中小企業は、経営者の方針次第で一気にWLB型企业へ変わることが可能です。

従業員同士が互いにカバーし合えるような「お互い様」の意識づけ、仕組みづくりを進めましょう。

本市は、WLB推進における課題をお持ちの企業や社員のWLB支援をさらに推進したいとお考えの企業の皆様に向けて、下記のとおりセミナーを開催します。企業の皆様からの参加をお待ちしております。

講演会

「企業経営に役立つワーク・ライフ・バランス」

～個人も組織も成長する秘訣～

日時 1月26日(木) 14時30分～16時00分

会場 四日市商工会議所 1階ホール

対象 経営者及び人事労務担当者

定員 先着100名

受講料 無料

申込方法 メールかファクスにて、はもりあ四日市まで。

別途タイムマネジメント研修も開催します。詳しくは“はもりあ四日市”まで。



講師 渥美 由喜氏

(株式会社東レ経営研究所
ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)



勝ち取る! 再就職 応援講座

2/16
(木)

10:00 ~ 12:00
「就職を勝ち取るための
ポイント!」

13:00 ~ 15:00
「就活メイク講座」



2/17
(金)

10:00 ~ 12:00
「目にとまる履歴書 &
職務経歴書の書き方」

13:00 ~ 15:00
「模擬面接」



【講師】

服部奈津子さん・・・日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所、産業カウンセラー

杉原幸子さん(メイク)・・・資生堂販売(株) 中部支社三重オフィス 美容統括部

対象：妊娠、出産、育児等で離職し、働きたい!と本気で考えている女性で、

講座開始日までにチャレンジ相談でパソコンによる適職診断(1時間程度)を受けられる方

場所：本町プラザ2階 第1会議室 参加費：無料

定員：24名(応募多数の場合は抽選)

申込：1月20日(金)までに、はもりあ四日市まで電話・メール・ファクスのいずれかでお申込み
ください。

託児あり：無料ですが、1月20日(金)までに予約が必要です。

シーズネット三重 講演会

「リハーサルのない人生をどう生きていきますか？」

8月27日から9月4日に実施した「はもりあ四日市15周年記念事業」で、台風12号の影響により3つの市民企画ワークショップが開催できませんでした。

そのうちの1講座を講師の方をお迎えして、2月に開催できることになりました。

当日自由参加ですので、ぜひご参加ください。

【新しい生き方モデルについて考えよう! ~講師の田中正人さんより~】

17年間約1万人を超える方々のカウンセリングを通してみえてきたものがあります。現在私たちが生きるこの現実は一千年に一度の大変化、大変革の中を生きていると言われます。

カウンセリングの現場から見えるものは、人間に対して「生き方のモデルチェンジ」を迫られているように感じています。モデルチェンジがスムーズに進まない時に心の元気が不足してしまいます。

セミナーでは皆様とともに「本当の楽しい生き方」=「新しい生き方モデル」について学ばせていただければと考えます。

【講座のご案内】

<講師> 田中 正人 さん 公益財団法人モラロジー研究所 社会教育講師
松阪市「心の支援センター」教育カウンセラー

<日時> 2月3日(金) 13:30 ~ 15:00

<会場> 本町プラザ2階第1会議室

<参加費> 無料

<定員> 50名(申込不要、当日自由参加)

<託児> 無料ですが、1月26日(木)までに予約が必要です。



スポーツとジェンダー “オリンピックを10倍楽しく見る方法”

映画と講義で考える男女共同参画第2弾は、「スポーツ」をテーマに取り上げます。

“映画”というわかりやすい媒体を通して、男女共同参画に関する問題を楽しみながら学んでもらいたいと企画しました。無料の託児もありますので、子育て中の方も安心して参加していただけます。



<あらすじ>

2006年ドイツワールドカップ出場をかけた試合がイランの首都テヘランで行われる。イランでは、女性がスタジアムで男性のスポーツを観戦することは法律で禁止されている。サッカーが大好きな少女たちがサッカー観戦のために考えた策は“男装”だった。スポーツを愛する人すべてに捧げる、夢をあきらめない“オフサイド”な少女たちの奮闘がいま始まる……。

【第1部 映画「オフサイド・ガールズ」の上映】

イスラム圏における女性差別の問題を“サッカー観戦”を通して映し出している、異国色たっぷりのユーモラスな作品です。

【第2部 アフタートーク 鈴山雅子氏講演会】

映画の中で、「オフサイド」の位置に描かれる少女たち。

元体育教師でもある鈴山先生から、「スポーツとジェンダー」についてお話ししていただきます。今年のオリンピックを今までとちょっと違った視点で見ることができたら、楽しみ方も倍増するのでは……。

<講師> 三重大学男女共同参画コーディネーター客員教授 鈴山 雅子さん

<日時> 2月4日(土) 13:00～15:50

<会場> 本町プラザ1階ホール

<参加費> 無料 <定員> 70名(先着順)

<託児> 無料ですが、1月27日(金)までに予約が必要です。

<申込み> はもりあ四日市まで、電話・メール・ファクスのいずれかでお申込みください。

今月のおすすめ本

今月は、ワークライフバランスに関する本を2冊ご紹介いたします。この2冊は、「はもりあ四日市」で貸出できます。



『イクメンで行こう!』

渥美 由喜 著

タイムマネジメント力、リスク管理能力、コミュニケーション能力が、どうして育児で磨かれるのか、また、ワークライフバランスを実践するためにはどうしたらよいかを、「平均(たいらひとし)クン一家」という架空の家族を設定し、ストーリー形式で伝えている本です。まったくのフィクションではなく、著者がイクメンたちから聞いたエピソードが多く盛り込まれている本です。



2人が「最高のチーム」になる

『ワーキングカップルの人生戦略』

小室淑恵・駒崎弘樹 著

家庭を持ち、子育て真っ最中でもある、30代の2人の経営者の対談をもとに書かれた本です。この本には、結婚、出産、家事、育児、お金という、夫婦が直面するさまざまな課題について、男女双方の視点から実践している「生活術」が書かれています。

現在子育て中の方のみならず、妊娠出産前のカップル、結婚前のカップル、学生、そしてお子さんが成人している方など、さまざまな方に読んでいただきたい本です。

今月のキーワード

「ポジティブ・オフ」運動

「ポジティブ・オフ」運動とは、休暇を取得して外出や旅行などを楽しむことを積極的に促進し、休暇(オフ)を前向き(ポジティブ)にとらえて楽しもう、という運動です。

休暇を取得しやすい職場環境や雰囲気を整えていくこと、それをベースとした外出・旅行を通じて経済活性化に貢献すること、そして、長期的に休暇を楽しむライフスタイルやワークライフバランスの実現などの「ライフスタイル・イノベーション」につなげていくことを目的として、昨夏から国と企業が共同して提唱・推進しており、現在105社・団体が賛同しています。「ポジティブ・オフ」運動は、個人、企業等にとって双方にメリットがあるばかりでなく、よいサイクルが築いていける運動です。



登録グループイベント情報

1月19日(木) 自分発見事業 『命の声を聴く自己尊重トレーニング』

毎月、訓練を受けたファシリテーターの先導のもと、自己尊重トレーニングを続けています。また、アロマの香りの中、ストレッチをし、心と体をほぐします。

時 10:00～12:00 所 富田地区市民センター 1階和室

料 500円 要事前予約 託 200円(ドロップinの事務所でお預かりします)

問 子育て広場 ドロップin (TEL・FAX 363-3728)

1月29日(日) こどもまつり

子どもフリーマーケット、おもちつき、軽食コーナーなどがあります。

時 11:00～14:00 所 水谷運輸倉庫(大字泊村1241-12)

申・問 NPO法人 体験ひろば こどもスペース四日市 (TEL・FAX 321-0883)

2月18日(土) 生活に寄り添う 在宅医療の実現を目指して

私たちが病気になった時どんな医療を受けたいか?豊かな老後とは何か?

在宅療養の実践を学び今後の可能性について、何が出来るかを考えていきます。

時 10:00～12:30(受付9:30) 所 四日市市文化会館 第3ホール

内 第1部 船木良真先生(医療法人三つ葉代表、三つ葉在宅クリニック医師)のご講演

第2部 船木良真先生と石賀丈士先生(いしが在宅ケアクリニック医師)の対談と会場からの質疑応答

料 無料

申・問 明日の地域医療を考える住民の会・あした葉

(TEL 090-8325-8816 FAX 321-4706)

あとがき

四日市市では、DVを受けた被害者の相談や支援等を平成5年より行っており、近年はDV相談が急増しています。このような状況の中で、DVの防止と被害者への支援を総合的かつ計画的に進めるため「四日市市DV防止基本計画(仮)」の平成24年度策定に向けて、男女間の暴力についての意識調査を実施します。無作為抽出した20歳以上の男女3,000人にアンケートを送付いたしますので、ご協力をお願いいたします。



四日市市男女共同参画センター(はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>